年齢に応じて、受取り額が増えていく

年々充実

変額個人年金保険2007
最低保証型一時金付特別勘定終身年金（逓増率型）特約

特別勘定の月次運用レポート
2024年3月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

お客さまが負うことになる投資のリスクについて

変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や積立金額・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、積立金額・解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生ずるおそれがあります。

変額個人年金保険に含まれる手数料などについて

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●解約・一部解約をした場合や年金受取方法を変更する場合、年金の一括受取をする場合には、一時払保険料相当額の最低保証はありませんので、受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡の保障等をするための費用です。ファンドによる運用中、積立金額に対して年率2.60%の割合で積立金額から毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して年率0.528%（税抜0.48%）程度の割合で信託財産から毎日控除されます。信託報酬に加えて、信託事務に要する諸費用、有価証券の売買手数料および消費税等の費用がかかります。なお、これら運用関係費用は、各投資信託の組入比率や運用状況によって異なりますので、具体的な金額や計算方法を記載しておりません。また、これらの費用はファンドがその保有資産から負担しており、公表されるユニットプライスはこれらの費用を控除した後のものです。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更、運用資産額の変動等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費（主契約による年金へ変更した場合に限りかかる費用）：主契約の年金支払の管理にかかる費用です。主契約による年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約手数料または一括受取手数料：契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約・一部解約または年金の一括受取をした場合にかかります。契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額＊の7%～1%の割合で解約日の積立金額・一部解約請求額または年金の一括受取請求時積立金額から控除されます。
＊解約控除対象額は、解約および年金の一括受取の場合は払込保険料総額、一部解約の場合は一部解約請求額と払込保険料総額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が払込保険料総額から差し引かれます。※この商品にかかる費用は、「ファンドによる運用中の費用（「保険関係費用」）」と「ファンドによる運用中の費用（「運用関係費用」）」 の合計となります。また、特定のお客さまには「解約手数料」「一括受取手数料」および「主契約による年金の年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」がかかります。
！詳しくは、商品パンフレット、「契約締結前交付書面（契約概要・注意喚起情報）」、「ご契約のしおり・約款／特別勘定のしおり」等をご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

[引受保険会社] オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。
ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

(管)ORI-137

市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	3.07%	20.63%	26.72%	43.96%	38.35%
	TOPIX（東証株価指数）	3.47%	17.00%	19.16%	38.19%	41.69%
日本債券	NOMURA－BPI総合	▲ 0.11%	▲ 0.51%	0.37%	▲ 2.20%	▲ 4.98%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	4.00%	15.34%	22.00%	41.25%	69.73%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	1.20%	5.04%	8.29%	15.80%	17.31%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	0.49%	6.75%	1.22%	13.39%	36.76%

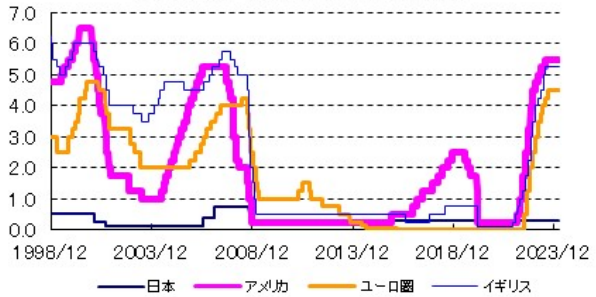
日経平均株価(円)の推移

日本と外国の株式市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移

先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移

全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定と主な投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				主な投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計
	株　式		債　券				投資信託	現預金その他	(百万円)
	日本	外国	日本	外国					
世界アセットR4 CA	●	●	●	●	グローバルバランス40VA2＊	ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社	97.1%	2.9%	5,338

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

主な投資対象の投資信託	運用方針
グローバルバランス40VA2＊	日本株式、外国株式、日本債券、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。株式と債券の基本配分比率はそれぞれ40%、60%とします。外国株式部分については為替ヘッジを行います。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

世界アセットR4 CA

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	1.38%	3.90%	7.00%	8.07%	2.33%	21.44%

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットR4 CA

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバルバランス40VA2＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針
日本株式、日本債券、外国株式、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。
株式と債券の基本配分比率はそれぞれ40%、60%とします。外国株式部分については、為替ヘッジを行います。

作成基準日: 2024年3月29日

当ファンドはファミリーファンド方式による運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とするマザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク（運用成果を判断するうえで基準とする指数）と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

日本株式インデックス・マザーファンド：「TOPIX（東証株価指数、配当込み）」
日本債券インデックス・マザーファンド：「NOMURA-BPI総合」
外国株式インデックス・オープン・マザーファンド：「MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）」※
外国債券インデックス・マザー・ファンド：「FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）」

※外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券の組入れに伴う実質的な外国株式資産については、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ヘッジベース）となります。

ファンドの状況

		前月末比
基 準 価 額	18,242円	+294円
純資産総額	10,167百万円	-8百万円

※1）基準価額は信託報酬控除後です。
※2）純資産総額は百万円未満四捨五入

基準価額の騰落率と推移

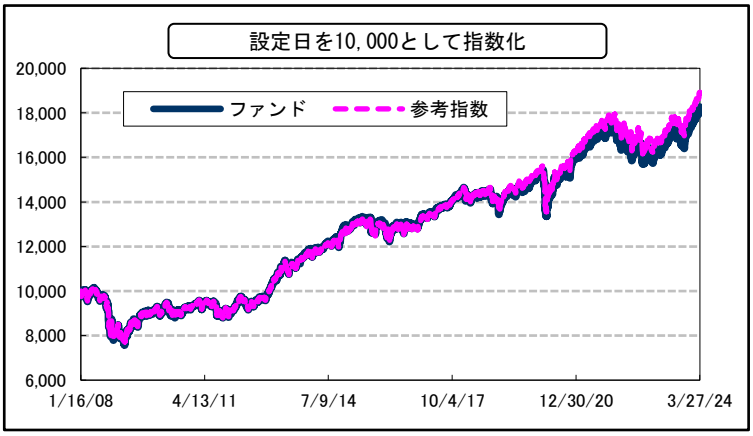
	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	1.64%	3.23%	4.70%	8.61%	11.19%	10.87%	82.42%
参考指数	1.68%	3.31%	4.86%	8.90%	11.78%	12.70%	89.19%
差	-0.04%	-0.08%	-0.16%	-0.29%	-0.59%	-1.83%	-6.77%

（注）参考指数は、当ファンドが組入れている各資産のベンチマーク 収益率に、各基本配分比率を乗じて算出したものです。

信託財産の構成

	基準日現在	目標資産配分	差異
日本株式マザー	10.3%	10.0%	0.3%
日本債券マザー	39.4%	40.0%	-0.6%
外国株式マザー	30.5%	30.0%	0.5%
外国債券マザー	20.1%	20.0%	0.1%
コール他	-0.2%	0.0%	-0.2%
合計	100.0%	100.0%	0.0%

（注）対信託財産純資産総額比



◇3月の市場動向◇
【国内株式】3月の国内株式市場は、利益確定や年金基金など国内機関投資家によるリバランス(調整)の売りが重荷となりましたが、半導体関連株が引き続き堅調に推移したことや日銀の金融政策決定会合を前に金融政策を巡る先行き不透明感が後退したこと、さらに日銀がマイナス金利政策の解除を決定した後も当面は緩和的な金融環境が維持されるとの見方が相場を支え上昇しました。
【国内債券】3月の国内債券市場は、日銀によるマイナス金利政策の解除決定後も当面は緩和的な金融環境が続くとの見方や年度末に機関投資家がリバランス目的の債券買いに動くとの観測が相場を支えましたが、日銀の政策正常化観測や市場予想を上回る米物価指標などを受けた米長期金利の上昇などが国内金利の上昇圧力となりました。日本10年国債利回りは前月末から0.02%上昇の0.73%となりました。
【外国株式】3月の海外株式市場は、アップルの中国でのスマートフォン販売減少や欧州の規制強化への懸念が一部の米大型ハイテク銘柄の重荷となったものの、米経済への楽観的な見方や主要中央銀行の利下げ観測などが相場を支え上昇しました。地域別の月間騰落率は米国市場が約3.2%の上昇、欧州市場が約4.6%の上昇、アジア市場が約1.2%の上昇となりました。
【外国債券】3月の海外債券市場は、市場予想を上回る米物価指標などが債券の売り材料となりましたが、パウエル米連邦準備理事会(FRB)議長が年内の利下げ開始を改めて示唆したことや欧州中央銀行(ECB)がインフレ率見通しを引き下げたことなどが相場を支え債券が買われました。米国10年国債利回りは前月末から0.05%低下の4.20%となりました。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関する会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットR4 CA

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバルバランス40VA2＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針
日本株式、日本債券、外国株式、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。
株式と債券の基本配分比率はそれぞれ40%、60%とします。外国株式部分については、為替ヘッジを行います。

主たる投資対象となるマザーファンドの運用状況

作成基準日: 2024年3月29日

●日本株式インデックス・マザーファンド

ファンドの特色:
① 日本の取引所に上場されている株式を主要投資対象とし、TOPIX（東証株価指数、配当込み）に連動した投資成果をめざして運用を行います。
② 株式組入比率は原則として信託財産総額の50%超を基本とします。
③ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引などを行うことができます。

【ファンドのパフォーマンス】

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	4.42%	18.14%	20.53%	41.34%	52.66%	199.73%
ベンチマーク	4.44%	18.14%	20.55%	41.34%	52.53%	198.32%
超過収益	−0.01%	−0.01%	−0.02%	−0.00%	0.14%	1.41%

・設定来の収益率は、特別勘定が投資する投資信託の設定日（2008年1月16日）に合わせて算出しております。

【組入上位銘柄】　組入銘柄数　2,142銘柄

銘柄名	業種	純資産比
トヨタ自動車	輸送用機器	5.1%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.3%
ソニーグループ	電気機器	2.3%
東京エレクトロン	電気機器	2.1%
三菱商事	卸売業	1.7%
合計		13.5%

・マザーファンドの純資産総額対比です。

●日本債券インデックス・マザーファンド

ファンドの特色:
① わが国の公社債等を主要投資対象とし、NOMURA-BPI総合に連動した投資成果をめざして運用を行います。
② 債券組入比率は原則として高位を維持します。
③ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、国内において行われる有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引などを行うことができます。

【ファンドのパフォーマンス】

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	−0.10%	−0.48%	0.43%	−2.09%	−4.89%	18.49%
ベンチマーク	−0.11%	−0.51%	0.37%	−2.20%	−4.98%	18.25%
超過収益	0.01%	0.03%	0.05%	0.11%	0.10%	0.24%

・設定来の収益率は、特別勘定が投資する投資信託の設定日（2008年1月16日）に合わせて算出しております。

【組入上位銘柄】　組入銘柄数　401銘柄

銘柄	クーポン(%)	償還日	純資産比
第361回利付国債	0.100	2030/12/20	1.9%
第1回クライメート・トランジション利付国債	0.700	2033/12/20	1.6%
第150回利付国債	0.005	2026/12/20	1.5%
第348回利付国債	0.100	2027/9/20	1.2%
第151回利付国債	0.005	2027/3/20	1.2%
合計			7.5%

・マザーファンドの純資産総額対比です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】

世界アセットR4 CA

【特別勘定が投資する投資信託】
グローバルバランス40VA2＜適格機関投資家限定＞

【運用会社】
ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

主要投資対象
日本を含む世界の株式及び公社債。

運 用 方 針
日本株式、日本債券、外国株式、外国債券を主要投資対象とするマザーファンドに主として投資することにより、日本を含む世界の株式および公社債等に分散投資を行います。
株式と債券の基本配分比率はそれぞれ40%、60%とします。外国株式部分については、為替ヘッジを行います。

主たる投資対象となるマザーファンドの運用状況

作成基準日: 2024年3月29日

●外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

ファンドの特色:
① 日本を除く世界の主要国の株式を投資対象とし、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動した投資成果をめざして運用を行います。
② 株式組入比率は原則として高位を維持します。
③ 外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。
④ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引などを行うことができます。

【ファンドのパフォーマンス】

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	4.17%	15.88%	22.91%	43.77%	79.12%	405.86%
ベンチマーク	4.20%	15.93%	23.06%	44.13%	80.17%	418.89%
超過収益	−0.03%	−0.05%	−0.15%	−0.35%	−1.05%	−13.02%

・設定来の収益率は、特別勘定が投資する投資信託の設定日（2008年1月16日）に合わせて算出しております。

【組入上位銘柄】　　組入銘柄数　1,259銘柄

銘柄名	業種	国名	純資産比
MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカ	4.7%
APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカ	4.0%
NVIDIA CORP	半導体・半導体製造装置	アメリカ	3.6%
AMAZON COM INC	一般消費財・サービス流通・小売り	アメリカ	2.7%
META PLATFORMS INC-A	メディア・娯楽	アメリカ	1.7%
合計			16.7%

・マザーファンドの純資産総額対比です。

●外国債券インデックス・マザー・ファンド

ファンドの特色:
① 日本を除く世界主要先進国の国債、政府機関債等を主要投資対象とし、FTSE世界国債インデックス（除く日本、円換算ベース）に連動した投資成果をめざして運用を行います。
② 公社債への投資は原則として高位を維持します。
③ 外貨建資産に対する為替ヘッジは原則として行いません。
④ 信託財産に属する資産の効率的な運用に資するため、ならびに価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引、有価証券オプション取引、金利に係る先物取引および金利に係るオプション取引などを行うことができます。

【ファンドのパフォーマンス】

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
当ファンド	1.27%	4.41%	8.08%	15.00%	16.74%	70.51%
ベンチマーク	1.27%	4.45%	8.11%	15.05%	16.82%	71.72%
超過収益	−0.01%	−0.04%	−0.03%	−0.05%	−0.08%	−1.21%

・設定来の収益率は、特別勘定が投資する投資信託の設定日（2008年1月16日）に合わせて算出しております。

【組入上位銘柄】　　組入銘柄数　556銘柄

銘柄	クーポン(%)	償還日	国名	純資産比
アメリカ国債	1.625	2029/8/15	アメリカ	1.2%
中国国債	2.690	2026/8/12	中国	0.9%
中国国債	2.910	2028/10/14	中国	0.9%
アメリカ国債	0.625	2027/11/30	アメリカ	0.8%
アメリカ国債	2.875	2025/7/31	アメリカ	0.7%
合計				4.5%

・マザーファンドの純資産総額対比です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。・投資リスク及び手数料については、表紙の注意事項をご覧ください。